

港湾行政マネジメントに関する研究会について

- 1.背景・経緯
- 2.港湾行政マネジメントに関する課題
- 3.港湾行政マネジメントに関する研究会の位置付け
- 4.港湾行政マネジメントに関する研究会の検討事項とスケジュール

1. 背景・経緯

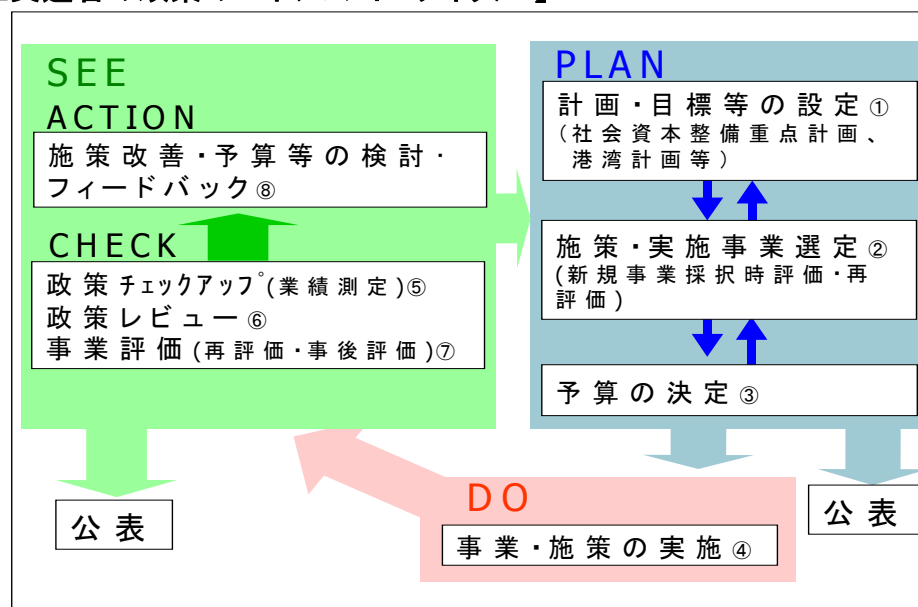
【国民的視点にたった成果重視の行政への転換】

- ・国民に対する行政の説明責任(アカウンタビリティ)の徹底
- ・国民本位の効率的で質の高い行政の実現

国土交通省でもNPM(New Public Management)の考え方を取り入れた行政マネジメント・サイクルの確立を目指して取り組み中

【国土交通省の政策のマネジメント・サイクル】

◎ NPM(New Public Management)とは、民間の経営手法を公的部門に応用した公的部門の新たなマネジメント手法



2. 港湾行政マネジメントに関する課題

【現状】

業績測定、施策の評価、個別事業評価などに取り組んでいる。

【視点】

1. 使う側(国民・ユーザー等)にたった行政、国民への説明責任を十分に果たしているか？
2. 効率的な行政の実施が十分になされているか？

【具体課題】

1. 利用者、国民の視点を反映し、一般の国民にもわかりやすい成果の指標となっているか。
2. 効率的な行政の実現に向け、現場のマネジメント改革に資する指標作り、業績評価がなされているか。
3. Check(業績測定等)からAction(予算、施策見直し等)、さらにPlanへのフィードバックなどが十分となっているか。

3. 港湾行政マネジメントに関する研究会の位置付け

NPM(New Public Management)の考え方を取り入れた港湾行政マネジメントのあり方について、具体的に検討するための港湾局長の私的研究会。

【国土交通省による検討体制】

	行政マネジメント	個別事業
全省的な 取組み	国土交通省 政策評価会 (座長:金本良嗣 東京大学大学院教授)	公共事業評価 システム研究会 (委員長:中村英夫 武蔵工業大学教授)
港湾局におけ る取組み	港湾行政マネジメント に関する研究会 (委員長:山本清 国立大学 財務・経営センター研究部教授)	港湾事業評価手法 研究委員会 (委員長:森杉壽芳 東北大学大学院教授)

(参考) 政策評価会とシステム研究会

	国土交通省政策評価会	公共事業評価システム研究会
目的	国土交通省の政策評価の制度設計、運営状況等について、専門的・中立的観点から助言をするための学識経験者等からなる評価会。	国土交通省の公共事業の評価手法に関する事業種別間の整合性や評価指標の定量化等について検討するための学識経験者等からなる研究会。
メンバー	◎金本良嗣 東京大学大学院経済学研究科教授 石田東生 筑波大学社会工学系教授 上山信一 慶応義塾大学教授 (大学院 政策・メディア研究科) 工藤裕子 早稲田大学教育学部助教授 田辺国昭 東京大学大学院法学政治学研究科教授 松田美幸 麻生総研ディレクター 森田祐司 監査法人トーマツ パートナー (公認会計士) 山本 清 国立大学財務・経営センター研究部教授	◎中村英夫 武蔵工業大学教授 家田 仁 東京大学大学院工学系研究科教授 石田東生 筑波大学社会工学系教授 金本良嗣 東京大学大学院経済学研究科教授 小林潔司 京都大学大学院工学研究科教授 根本敏則 一橋大学商学部教授 森杉壽芳 東北大学大学院情報科学研究科教授 森地 茂 東京大学大学院工学系研究科教授

出所)「国土交通省政策評価会」資料より作成

出所)「公共事業評価の基本的考え方(平成14年8月)」より作成

4. 港湾行政マネジメントに関する研究会の検討事項とスケジュール

1. 港湾行政マネジメントに関する基本的な方向性の検討

- 1) 研究会の目的と進め方の検討
- 2) NPMの考え方の整理
- 3) 港湾行政マネジメントに関する基本的な方向性の検討

第1回研究会

(10月)

2. 港湾行政マネジメントに関する基本的な枠組みの検討

- 1) 港湾行政マネジメントに関する基本的な枠組みの検討
 - ① 現状の取組み状況の整理
 - ② 港湾行政マネジメントに関する枠組みの検討
- 2) 港湾行政マネジメントの指標の方向性等の検討

第2回研究会

(11月)

3. 港湾行政マネジメントの指標の検討

- 1) 港湾行政マネジメントの指標の検討
- 2) 港湾行政マネジメントに関するケーススタディの検討

第3回研究会

(1月)

4. 本格的な導入に向けた諸課題の検討

- 1) 検討の取りまとめ
- 2) 今後の取組みなど

第4回研究会

(3月)

(平成17年度)